

—はじめに—

残暑、御見舞申しあげます。

今年の夏は、異常気象による天候不順が続きましたが、会員の皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

去る8月2日の夏期レクリエーション大会は、74名という多くの方々参加協力をいただき盛大に行うことが出来ました、ここに担当理事をはじめ、お手伝いいただいた皆さまに誌面をかりて厚くお礼を申し上げる次第です。

さて、8月25日小田原医師会より「マンモグラフィの技術面及び診断に関する概略について」という教育講演に部会長から本会への参加の案内をいただきました。医師会との技術交流という点から意義深いものと感謝を申し上げ、今後ともこのような機会が多く持たれることを願うと同時に、会員の積極的参加を希望するところです。

10月には勉強会を計画しておりますので、その折には多数会員の出席をお願い致します。

この地区だより2号がお手元に届く頃には、さわやかな秋風を肌感じられる季節となるでしょう。スポーツの秋に向けて、皆さま御健勝の上御活躍の程をお祈りいたします。

西湘放射線技師会会長 水沢 良隆

—夏期厚生レクリエーション開催報告—

昭和62年度、西湘放射線技師会夏期厚生レクリエーションとして、8月2日二宮海岸において、地引き網とバーベキューの会を開催いたしました。

当日は、台風7号の影響で風波が心配されましたが、幸いたした影響もなく、総勢74名の会員、家族の皆様等多数の参加の中、和気あいの雰囲気ですべて終了いたしました。

幹事 中根・奥村

やったね！ 大漁

8月2日、とても夏とは思えない寒い日でしたが、長袖のトレーナーを着て、「地引き網&バーベキューの会」に参加させていただきました。

1週間位前から、5歳の子供も楽しみにしていて、「網を引っぱったら、くじらが入っていたらどうする？」などとはしゃいでいたので、一回めの魚の少なさにはがっかりしてしまいました。ところが2回めの網が大漁で、網の中に身をのりだして見ていた子供達は、ピチピチはねる魚が飛ばすウロコだらけ。

そのあと、すぐに料理していただいた魚のおいしかったこと！。バーベキューも天ぷらも焼きそばもあって、とれたてのお刺身も食べて、スイカ割りもして大満足でした。その上、地引き網で上がった魚のお土産までいただいて、家族も大喜び。

本当に楽しい一日でした、来年もぜひ参加したいと思います。

陽風会高台病院 藤井麻理

□学術講演会のお知らせ□

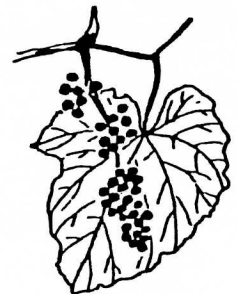
秋の学術講演会を来る10月23日（金）増築された山近病院放射線室の見学を兼ねて同院3階会議室において開催致したいと思います。

当日は、午後5：30より1時間の施設見学をはじめ、山近病院の和田先生と第一製薬株式会社の講演を予定しております。

尚、詳しくは9月下旬に案内状を各施設宛に送付いたします。

□理事交替のお知らせ□

福利厚生担当理事の小林病院 佐藤 洋氏は都合により、会務を続けることができなくなりましたので、替わって渉外担当理事の山近病院 小宮 邦雄氏が兼務することになりましたので、宜しく御願致します。



— 病院紹介 —

山近病院

当院は創立31周年を既に経過し、建物・内部施設共に一部陳腐化したため、3～4年来増改築を重ねてまいりましたが、今回はその総仕上げという事で新病棟（病室30床並びにリハビリホール）の新設と共に放射線室の拡充整備を行いました。

勿論、微力な民間病院のことですので余り充分な事も出来ませんでした。後はこの増改築工事が地域医療に出来る限り貢献出来ます様、職員一同努力する覚悟であります。

8年前、当地区第1号機として設置した全身用CTも、総数13,924件（62.7.20 現在）の実績を作ることが出来ました。

これも、地元医師会並びに放射線技師会の先生方の御支援の賜と厚く感謝致しております。今後は、地域医師会の先生方と益々連携を密にして、共存共栄、地域医療内容向上に貢献致したいと考えております。放射線技師会の先生方、何分宜しく御支援下さいませ御願ひ致します。

病院規模： ベッド数 151床（含ICU 4床、CCU 2床）
職員数 174名（含パート31名） 1日平均外来患者数 390名

放射線室： 撮影枚数5,200枚/月 撮影件数2,000件/月 超音波撮影枚数500枚/月
CTスライス数4,000スライス/月 CT検査件数240件/月

放射線室職員数： 技師5名 助手1名 看護婦1名 受付1名（午前中のみ）

放射線室・撮影装置・その他

1. 透視撮影室 東芝XTV-ASZ(KX0-15)、天井走行DS-PB、立位高圧ブッキー
2. 一般・断層撮影室 島津ED-150L、HL-5(TOMO)、天井走行CH-30X(W)、ブッキーテーブル
立位オートチェンジャー(OX-大角切)
3. 一般撮影室 島津HD-150B-10、天井走行CH-30X(W)、ブッキーテーブル BK-12
立位オートチェンジャー(OX-204 半切、大角両用)
5. 乳房撮影室 東芝MGU-01(DRX-B1046E-M0)
6. 多目的透視撮影室 島津XTV-ZS-40(XHD-150B-30)CR使用可能型
天井走行CH-30X(W)、マツキ連続装置TCA-25
IP速写装置(CR用連続装置)
7. CTスキャナ室 島津全身用CTスキャナ装置 SCT-2500γ
手術室 東芝KX0-15 天井走行撮影DS-PB、Cアーム透視撮影装置
CR室 CR901 一式
その他 ケミカルミキサー-FAM380、デューブ用複写機FSM430-DSP
自現機FPM-400(オートフイーダー-FSM403DR. FPR-421)

*2. ED-150Lは9月に三相1,000mA 装置に交換予定 (宗像技師長)

□訪問記□

新装なった放射線室は、以前と比べると格段に明るくなり、各部屋のスペースはゆったりとして、特に暗室の広さには驚きました、また更衣室が各室に設けられ患者さんに対する心づかいが窺えました。

西湘地区で3台目というFCRシステムも技師室の中央におかれ、和田技師を中心に皆さんがFCRの画質向上に勤務時間を過ぎてまで研鑽されている姿に、一市民として頼もしさを感じました。

(徳安)

地区委員会報告

昭和62年6月26日、8月31日 2開催分

◎ 県放技創立40周年記念行事に関して(会誌No. 89)

記念式典 9月22日(火) 平日14:00~

西湘地区から4名の会員が県知事表彰、会長表彰等各々の部門で受賞されます。
おめでとうございます。

飯塚 芳郎 水沢 良隆 中静 恒 鈴木 喜六 (敬称略)
平日ではありますが、多くの一般会員の参加を希望しています。

記念出版物

神奈川県放射線技師会創立40周年記念誌

“四十年の歩み”引替券

会員番号 _____ 氏名 みづく

上記に記入して9月22日記念式典会場、10月

18日、11月15日の県放射線技師会または

は本会事務局でなるべく早く引替えて下さい。

(社)神奈川県放射線技師会

1. 記念誌「40年の歩み」B5判

全会員「引替券」無料配布 (引替券は会誌No.90折込)
代理人でもかまいませんが、なるべく本人が各催しに参加し
て直接受け取りましょう。

2. ペーシェント・ケア「放射線技師の責任と実践」A4判

1,800円(会員 1,500円)

◎ 地区活動助成金について

5月30日県放技総会で助成金が決定され、その後理事会、地区委員会で施行方法
の検討を加えた結果「県技師会活動が地区活動に負う所が多く、通信費程度の助成し
かできないが活用してほしい」との意向を受けて、全地区この助成を受理する方向で
進んでおります。西湘地区としても会長と相談の結果、助成を受けるべく会長一任と
して処理致しますので、ここに御報告させていただきますと共に全会員の御了承を賜
りたいと思います。

(62年度分より助成開始、助成方法-各地区内県放技会員1人当り 160円/年)

◎ 県放技購読会員の開設

年長者会員の内、定年離職者・移籍者等購読継続が困難な元会員に対して行うもの。

1. 5年間会員として購読していた者 1万円

2. 20年間会員として購読していた者 無料

本人が県放技会事務局へ申し込んで下さい。

◎ 体育祭

9月13日(日) 「バレーボール大会」 9:00~16:00

三菱電機鎌倉製作所 体育館 会費 500円

「伊勢原・西湘・平塚」-チーム編成

当日、テニスコートも一部開放します。

西湘地区からの参加者が、厚生部中根、地区委員山田のみでは、詫しいのでどんどん
申し込むこと、34-3175 中根まで。

◎ 63年度卒後研修会(日放技)が県放技の要請通り神奈川県で開催されることになり
ましたので御報告します。

◎ 関東東京部会

10月3・4日 群馬県前橋市

シンポジウム「神奈川県における放射線治療の現状」

は神奈川県放技が担当します。



西湘地区だよりに寄せて

西湘担当理事
 県立厚木病院 齋藤 良久

西湘季刊誌発刊、御目出とうございます。西湘放技会より御送付頂き拝読しました小生永年のくせで、中身を読む前に全体の割り付け、誤字脱字がないかを見てしまいます。20年来まがりなりに編集を手掛けていると、悪い意味での根性ができるのでしょうか、あらを探すつもりは毛頭ありませんが、書き物は廃棄しなければ永久に残るし、また仲間だけでなくどんな階層、どんな教養のある人の目にとまることもありそのために技師全体のレベルを評価されることが恐いのです。

閑話休題 以上の理由で拝見いたしました。少ないページを有効に使い内容の濃い創刊号に、敬意を表します。

さて、神放技も40周年記念式典を間近に控え、関係者一同張り切ると同時に仕事の合間というより、準備の合間に仕事をしているといった方が適切でしょうか。

小生、渉外の仕事ながら厚木の遠隔地にあり、あまり御手伝いもできません。

最近の技師会全体の様子がわりは、目を見張るものがあります。小生の駆け出し時代昭和30年代は、大物の先輩が沢山おられ、何かと教導される事が多く我々にとっては大変勉強になった時代でした。振り返って今、自分がその立場にたつてみた時、それだけの指導力、見識があるのかと反省させられることしきりです。その分若い人達(未だ若いつもりでいます)は、積極性、独創性に富んでいる様に感じます。

時代の相違といってしまうとそれまでですが、教育の然らしむ事でしょうか。私は温故知新という言葉が好きです。古くさいと感じられるかもしれませんが、書を嗜み謡曲に明け、歴史を好んでいる故でしょうか、仲々蘊蓄のある語です。原典は論語で数千年前に編纂された書です。現代訓は、昨日表れ、明日消えるのが多い中で、数千年生き続けるのは、それ相当の意義があるからだと思えます。古典芸能においても然り、だからといって古いものに固執するつもりはありません。新しいものを知るには古いものを知らなければ判らないのです。我武者羅に猪突しても後を振り返り軌跡を見て軌道修正をしてこそ、真直ぐに進めるのだと思えます。それと共に思考の方法を変えて水平的にもものを視てはどうでしょうか。兎角、技術屋は「真正面しかものを見ない」という定評があります。技術の研鑽も結構、必要ですがたまには、仕事を離れ全然無関係のことをみること、やること、これが人間の心に潤いをもち、ひいては仕事にも継がかるのではないのでしょうか、パーシレントケアこれです。

駄文、蛇足を書きました。ご精読ありがとうございました。何かをつかんで頂けたら幸いです。会の益々のご発展と皆様のご健康を祈り筆を置きます。

入会・退会欄(敬称略)

62年4月	再入会	山近病院	西郷	重樹				
5月	入会	丹羽病院	駒木	亨	小沢病院	平田	文高	
6月	入会	高台病院	藤井	麻理	足柄上病院	大和	虎明	県職移動
7月	入会	間中病院	岡本	泰介	小田原保健所	中村	治	
5月	退会	小沢病院	渡辺	秋二	定年退職			
6月	退会	足柄上病院	森	吉正	県職移動			

編集後記

齋藤先生のいわれるとおり、言葉を活字にしてしまうことの怖さ、それに伴う責任の重さを感じる今日この頃です。これからも、地区だよりに対するご意見、ご感想を真摯に受けとめ、よりよい誌面づくりに反映していきたいと思えます。(徳安)